

ようぼく家庭に、もれなく『天理時報』を 道友社ホームページURL <https://doyusha.jp>

「令和6年能登半島地震」被災地の皆さまへ

このたびの「令和6年能登半島地震」により命を失われた方々、ならびに関係の皆さま方に対し、衷心よりお悔やみを申し上げます。また、被災されました方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。 天理教教会本部

直属社友研修会

直属社友研修会を以下の通り開催いたします。

【日時】 立教187年2月25日 13:30～15:00

【場所】 道友社本社6階ホール

【対象】 前回（立教186年2月・3月）に出席できなかった直属社友、
前回開催後に着任された直属社友
(立教186年11月10日までに社友変更届を提出された方)

教務ご多忙の折とは存じますが、何卒よろしくお願いいたします。

『天理時報オンライン』から お知らせ

電子書籍が100冊になりました

プレミアムプランにご登録の方は、すべてご利用いただけます。

追加された主なコンテンツ（1月18日現在）

【電子書籍】

- ・おやさまと先人 上（少年会本部）
- ・おやさまと先人 下（少年会本部）
- ・柏木庫治教話集 第1巻（天の理・地の理）
- ・柏木庫治教話集 第2巻（むこうばい力）
- ・柏木庫治教話集 第3巻（心一つ）
- ・柏木庫治教話集 第4巻（よふきぐらし）
- ・劇画 教祖物語 愛読新装版

【定期刊行物アーカイブ】

- ・『天理時報』1966年まで
- ・『みちのとも』1966年まで
- ・『天理時報特別号』1986年まで

【フォトギャラリー】

- ・2023年12月分10件



『天理時報オンライン』には、非会員、無料会員、スタンダード、プレミアムの4つのプランがあり、会員登録をすることで、各プランに応じて定期刊行物や電子書籍、映像、音声などのコンテンツが閲覧、視聴できます。

天理時報 *online*

いつも、
どこでも天理時報。

右のQRコードからアクセスし、
ご利用ください



手配りひのきしんで、教友の絆を強めよう

筆しました。
 の「ハーモニ」を、50回にわたって執筆しました。
 このうち前半の25篇は平成28年、『家族日和』として刊行され好評を博しました。本書はその続編で、後半の25篇に、さらにその後の様子を書き下ろした5篇を加えてまとめたものです。
 著者が里親となつて、「おかえり」と言つて迎えた初めての里子・正夫君は、大学を卒業して社会人となり、教会から巣立ちます。また、超わんぱくだった将太君は、児童相談所の意向で教会から離れることになりましたが、連載終了後に教会家族と5年ぶりの再会を果たします。

読書会 3月定期配本
 道友社きずな新書 015
 『おかえり』
 ——続・家族日和——
 白熊繁一 著
 3月1日発売 定価990円(本体900円)

読書会の定期配本として『おかえり——続・家族日和』を刊行いたします。
 著者の白熊繁一氏は、平成22年から令和4年までの13年間、『人間いきいき通信』(天理時報特別号)に「家族

エピソードに著者は、次のように記しています。
 「里子たちに限らず、人と人とのつながりは、みんな不思議な縁で結ばれていることに気づきます。天理教の教会長として出会う人も、また社会的な活動をしながら出会う人たちも、肉眼では見えませんが、確かな糸につながっているからこそ出会うのだと感じます。
 ですから、わが家(教会)に来てくださる人たちを『おかえり』と言つて迎えるようになり、多くの皆さんが『ただいま』と言つて玄関を入つてくれるようになりました。
 これからも、命を与えていただく限り、人との出会いを大切に紡ぎ、神様が結んでくださる糸につながる人たちを『おかえり』と言つて迎えたいと思います」
 著者の、里子たちに向ける優しい眼差し、教会長として、保護司や教師師として出会う人たちに寄り添う姿、そして、亡き父親から受け継いだ揺るぎない信仰心に、胸を打たれ、心が温かくなり、たすけ心を掻き立てられます。いまの旬にぜひ、前作と合わせて読んでいただきたい本です。

本社窓口・販売所の営業時間

2月	本社窓口	おやさと書店 BOOKS 道友
1 ~ 25 27 ~ 29	9:30 ~ 16:00 (木曜日 13:00 ~ 16:00)	9:00 ~ 17:00
26日 (月)	12:00 ~ 16:00	8:00 ~ 9:00 10:15 ~ 17:00
定休日	土曜(窓口休止) 日曜・祝日	ありません
備考	本社では販売していません	25・26日 購読受付休止

DOYUSHA 月間ベストセラーズ
 販売所売上実績 (税込価格) 1月5日現在
 3月に読書会配本があります

① 時の中の自分 外尾悦郎 著	¥1,540
② おやさまの温もり 文 白熊繁一、絵 おけむらはるえ	¥330
③ おさしづの手引 (道友社文庫) 榊井孝四郎 著	¥1,100
④ 続 おやさまの灯り 文 白熊繁一、絵 西菌和泉	¥330
⑤ おやさまの灯り 文 白熊繁一、絵 西菌和泉	¥330
⑥ カウンセリングエッセー 人と関わる知恵 金山元春 著	¥1,100
⑦ すきっと vol.40 道友社 編	¥880
⑧ 真実の道 道を啓いた先人・先輩の教話集 ひながた編 道友社 編	¥1,320

寄贈御礼

編集出版課から

平素は、教区・支部報ならびに教会報のご寄贈、誠にありがとうございます。お寄せいただいた各報は、情報・資料として有効に活用させていただいております。紙面をもって厚く御礼申し上げます。今後とも変わらずご寄贈のほど、よろしく願いいたします。(各報とも五十音順)

【教区】あきた(秋田)／岩手教区報(岩手)
 ／愛媛教区報(愛媛)／香川教区月報(香川)
 ／神奈川教区報(神奈川)／教友(東京)／し
 なの(長野)／赤心(大阪)／たすけあい(福
 岡)／新潟理生(新潟)／のうひ(岐阜)／廣
 島(広島)／福井教区報(福井)／みふさ(千
 葉)／和歌山教区報(和歌山)

【支部】きらり宇部(山口・宇部)／支部通
 報ながた(兵庫・長田)／垂水(兵庫・垂水)
 ／東部支部報(鳥取・東部)／まいづる、よふ
 ぼく(京都・舞鶴)／むさしの(東京・むさし
 の)／ルククみしま(大阪・三島)

【直属】朝倉(朝倉)／東大教会報(東)
 網走月報(網走)／生野月報(生野)／いこま
 (生駒)／いずみ(泉)／いの月報(伊野)／
 うちわけ(高安)／宇仁(宇仁)／雨龍月報
 (雨龍)／恵心(大江)／大縣(大縣)／大森
 町月報(大森町)／岡大教会連絡報(岡)／嶽
 東(嶽東)／かさおか(笠岡)／河原町(河原
 町)／かんざき(神崎)／北半園(新潟)／岐
 美(岐美)／紀陽月報(紀陽)／黒潮(名東)
 ／京城通信(京城)／月報網干(網干)／甲賀
 (甲賀)／甲府(甲府)／広報ひなが(肥長)

【湖東月報(湖東)／こなんぶだより(小南
 部)／このはな(此花)／さかい(堺)／敷島
 (敷島)／しまがはら(島ヶ原)／周東(周東)
 ／真心(撫養)／真明(芦津)／正道(山名)
 ／誠道(加古)／高松月報(高松)／中河(中
 河)／津大教会報(津)／天龍(郡山)／とう
 かい(東海)／とうほん、東本月報(東本)
 豊繁月報(豊繁)／なかしる(中背)／中野

(中野)／那美岐(那美岐)／なんあ会報(南
 阿)／なんき(南紀)／西陣(西陣)／日本橋
 (日本橋)／秦野(秦野)／花筏(山國)／阪
 東(阪東)／東中央(東中央)／ひきよせ(夕
 張)／双名島(双名島)／HOFU(防府)／
 芳洋(兵神)／ほくりく(北陸)／ほんえ(本
 往)／本島通信(本島)／ほんりよ(本理世)
 ／御津会報(御津)／明城(明城)／やまかけ
 (山陰)／大和(櫻井)／やまとよふき月報
 (やまとよふき)／連絡報(旭日)／連絡報
 (北)／連絡報(豊岡)／わかたけ(栗太)
 (婦人会)／たんぼぼ通信(網干)／中津婦人
 会報(中津)／BANBI(甲府)／ひまわり
 (中野)

【青年会】礎(中野)／甲府分会報(甲府)

【部属】愛光(愛光)／綾ノ本(綾ノ本)／伊
 那愛月報(伊那愛)／うわじま(宇和島)／大
 海(大海)／大府(大府)／おさやま(長山)
 ／会報かみよし(神美)／蒲池(蒲池)／かわ
 にし(河西)／きんかん(甲勢)／月刊さいち
 ん(西鎮)／素直(愛野)／高屋便り(高屋
 ／たけゆき(武行)／玉造(玉造)／長東(長
 東)／月日の心(心明)／東土臺(東土臺)／
 統北(統北)／にっとうき(日東紀)／福島
 (福島)／平安西(平安西)／ほくえつ(北越)
 ／まきのしま月報(牧之島)／MONTHLY
 KANAZAWA(金澤)／道しるべ(浪一)
 ／美納会報(美納)／やまいち(山一)／養樹
 (養樹)

【その他】愛生(長島愛生園慰安会)

【布教所】湖ようき布教所月報(湖ようき)

☆下記の各報は昨年、それぞれ節目の号を迎えられました。おめでとうございます。
 800号＝「中河」(中河大、4月号) 「しまがはら」(島ヶ原大、6月号) 600号＝「日本橋」(日本橋大、3月号)
 「とうかい」(東海大、8月号) 「大府」(大府分、5月号) 「美納会報」(美納分、8月号) 「玉造」(玉造分、9
 月号) 400号＝「ほんりよ」(本理世大、5月号) 「蒲池」(蒲池分、2月号) 「あきた」(秋田教区、11月号) 300
 号＝「月報網干」(網干大、5月号)


※各報の寄贈は、編集出版課で随時受け付けております。紙媒体、PDFなど、形式は問いません。詳しくは同課
 (0743-63-0591)まで。

インフォメーション

【社友研修会】
 ・神奈川教区
 日時：3月3日9時30分
 場所：神奈川教務支庁
 ・福島教区
 日時：4月1日15時
 場所：福島教務支庁

『グラフ天理』更新中

『グラフ天理』が随時更新されて
 います。
 閲覧、印刷してご活用ください。



URL= https://fukyo.tenrikyo.or.jp/top/?page_id=18872

社友LINE
 登録受付中



社友向けLINE公式アカウント
 友だち登録QRコード

天理時報

手配り通信

天理時報普及・手配り事務局

電話：0743-63-0592（受付時間 9：30～16：00）

FAX：0743-63-5513

※ 定休日 日曜・祝日 土曜（窓口休止）

手配り活動を、北陸地方の一部地域で休止いたします

『令和6年能登半島地震』による被災者の皆さまに、謹んでお見舞いを申し上げます。

現在、運送各社では荷物の遅配や配達不能な状態が発生し、また被災地方面向けの荷物の引受停止などの措置がとられております。

道友社では、石川教区の『天理時報』の手配りを休止し、郵便による直送とさせていただきます。

また、その他の地域でも、到着が遅れたりする地域があります。直送を希望される場合は、支部手配り責任者へご連絡ください。道友社へは支部手配り責任者からまとめて連絡していただきます。

被災されました皆さま方には、たいへん不自由な生活をされていることと存じますが、どうぞお気をつけてお過ごしください。

拠点長の皆さまにお願いいたします

- ①購読者から諸手続き（購読料金の受け取りや継続の手続き、住所変更など）の依頼を受けるのはトラブルの元です。ご購入者本人、もしくは所属教会から道友社に連絡していただくようお願いください。
- ②ひのきしん者が急に手配りができないといった不測の場合を考慮して、すぐに対応できるよう準備をお願いします。
 - ・手配りひのきしん者の交替人員の確保。
 - ・郵送に切り替えるための切手用台紙シール（「第三種郵便物」の文字が印刷されたもの）と切手の準備。
- ③拠点と道友社間の連絡・諸手続きは、責任者を通して行っています。次のような事項は、まず責任者にご連絡ください。
 - ・手配り先の読者の転居、長期不在。
 - ・直送から手配りへ、手配りから直送へなどの変更。
 - ・ひのきしん者の事故。
 - ・その他、トラブルが発生した場合。

※道友社に直接ご連絡いただいた場合も、責任者にも必ずご報告ください。

2月、3月の『天理時報』の発行予定について

2月の発行は、7日号、14日号、21日号、28日号です。

3月の発行は、6日号、13日号、27日号（3月20日号との合併号）です。

※急遽変更する場合があります